

簡卉雯 (CHIEN, Hui-Wen)

職稱	國立臺灣海洋大學共同教育中心語文教育組 副教授 兼 語文教育組組長
經歷	本校共同教育中心語文教育組組長 2021.08~迄今 本校共同教育中心華語中心主任 2020.08~2022.01 本校研究發展處學術發展組組長 2018.08~ 2020.07 日本東北大學大學院國際文化研究科專門研究員 2010.05~2010.07 教育部 93 年公費留學 (學門:語言學, 研究領域:日本語學)
學歷	日本東北大學 大學院國際文化研究科 博士
E-mail	hwnchien@ntou.edu.tw
電話	02-2462-2192 分機 2061
研究領域	第二語言習得、日語教育、日本語學、語料庫語言學、應用語言學
授課領域	日文(一)~日文(六)

學術著作

A. 專書

1. 簡卉雯(2021.06)『第二言語としての日本語「テシマウ」の習得過程』台北：致良出版社。
2. 簡卉雯(2014.09)『日本語学習者による「ている」のパーフェクト用法の習得』台北：致良出版社。

B. 期刊論文

1. 簡卉雯 (2021)「学習環境の違いから見た「テシマウ」の用法の習得—自然習得と教室環境の学習者を対象に—」『東吳日語教育學報』第 54 號, 25-51, 東吳大學日本語文學系。
2. 簡卉雯 (2020)「日本語学習者の「てしまう」の習得過程—言語構造の発達に注目して—」『台灣日本語文學報』第 48 號, 171-194, 台灣日本語文學會. (THCI)
3. 簡卉雯 (2020)「テシマウの習得プロセスに関する縦断研究—タクスの違いから—」『台灣日語教育學報』第 34 號, 50-75, 台灣日語教育學會. (THCI)
4. 簡卉雯 (2019)「母語の違いから見たテシマウの習得プロセス」『台灣日語教育學報』第 33 號, 83-106, 台灣日語教育學會. (THCI)

5. 簡卉雯 (2018)「日本語学習者の発話における『てしまう』の使用実態：日本語母語話者と比較」, *Learner Corpus Studies in Asia and the World*, (3). 177-187, (日本)神戸大学国際コミュニケーションセンター.
6. 簡卉雯 (2016)「テイルの「経験・記録」用法の習得—「わがこと」と「ひとごと」の側面から—」『国際文化研究』第 22 号, 127-140, (日本)東北大学国際文化学会.
7. 簡卉雯 (2015)「文法性判断テストによる日本語学習者のシテイルの習得研究—「結果の状態」用法を中心に—」『国際文化研究』第 21 号, 31-43, (日本)東北大学国際文化学会.
8. 簡卉雯 (2014)「日本語パーフェクト用法のシテイルの使用—中国語母語話者と日本語母語話者の比較を通して—」『東呉外語學報』, 第 38 期, 83-103, 東呉大學外語學院. (THCI Core)
9. 簡卉雯 (2012)「動詞の意味特徴からみる「ている」の「結果の状態」用法の習得—縦断的事例研究—」『日本語/日本語教育研究』第 3 号, 245-259, (日本)日本語/日本語教育研究会.
10. CHIEN, Hui-Wen & Wataru Nakamura (2010). The Acquisition of Japanese Aspect Marker -te i-(ru) by Mandarin Chinese Speakers: A Cross-Sectional Study. In M. Hirakawa et al.(Eds.), *Studies in Language Science*, (9). 127-142. The Japanese Society for Language Sciences.
11. 簡卉雯・中村涉 (2010)「台湾人日本語学習者の「ている」の習得に関する縦断研究—「結果の状態」の用法を中心に—」『東北大学高等教育開発推進センター紀要』第 5 号, 83-92, (日本)東北大学高等教育開発推進センター.
12. 簡卉雯・中村涉 (2010)「『ている』の習得過程に関する事例研究—難易度を左右する要因を中心に—」『国際文化研究』第 16 号, 45-56, (日本)東北大学国際文化学会.
13. 簡卉雯・中村涉 (2009)「中国語母語話者による「動詞+テイル」の習得に関する事例研究—コレスポンデンス分析による解析—」『東北大学高等教育開発推進センター紀要』第 4 号, 69-79, (日本)東北大学高等教育開発推進センター.

C. 專書論文

1. 簡卉雯(2012)「「ている」の「パーフェクト」用法の習得：非現実性を中心に」笹原健・野瀬昌彦(編)『日本語とX語の対照2—外国語の眼鏡をとおして見る日本語—』, 23-33, 名古屋：三恵社.
2. 簡卉雯(2011)「中国語母語話者による日本語アスペクト形式「ている」の習得—「結果の状態」用法を中心に—」修剛・李運博(編)『跨文化交際の日的日语教育研究：異文化コミュニケーションのための日本語教育』, 2, 378-379, 中国北京・高等教育出版社.

D. 研討會論文

1. 簡卉雯 (2024)「學習歷程檔案結合合作學習教學法對學生語言學習策略的影響分析」『銘傳大學 2024 國際學術研討會-日本語教育的課題及動向』,57-64. (於台灣・銘傳大學)
2. 簡卉雯 (2023)「跨國遠距課程對提升學生跨文化日語溝通力之成效分析」『銘傳大學 2023 國際學術研討會-後疫情時代日語教學之創新與實踐』, 82-89. (於台灣・銘傳大學)
3. 簡卉雯 (2022)「日本語の補助動詞テシマウの習得—縦断的な作文データに基づいて—」『2022 年臺灣大學日本語文創新國際學術研討會』, 123-130. (於台灣・國立台灣大學)
4. 簡卉雯 (2022)「中級日本語學習者による日本語補助動詞テシマウの習得」『第 6 回アジア未来會議-アジアを創る、未来へ繋ぐ。みんなの問題、みんなで解決-』 (於台灣・文化大學)
5. 簡卉雯 (2022)「合作學習對提升非日語系學生日語聽力及口說能力之成效分析」『銘傳大學 2022 國際學術研討會—疫情時代應用日語教育的創新策略—』,88-93. (於台灣・銘傳大學)
6. 簡卉雯 (2020)「中間言語變異性—「書く」と「話す」という課題の違いから—」『2020 年大葉大學應用日語學系學術研討會—日語多元教學與研究—』, 34-44. (於台灣・大葉大學)
7. 簡卉雯 (2020)「「書く」と「話す」課題の違いから見たテシマウ習得過程の中間言語の變異性—縦断的なデータを用いて—」『2020 年度日本語教育学会春季大會』, 149-154. (於日本・一橋大學)
8. CHIEN, Hui-Wen (2019) A Longitudinal Study of the Acquisition of Japanese Subsidiary Verb - *te simau* by Taiwanese L2 Learners: From the Viewpoint of the Pragmatic Functions. *Japanese Studies Association of Australia Biennial Conference 2019*. (@ Monash University, Caulfield, Victoria, Australia)
9. 簡卉雯 (2018)「日本語學習者の發話における補助動詞「～てしまう」の使用特徴—談話の構造を中心に—」『社會言語科學會第 42 回研究大會發表論文集』,185-188. (於日本・広島大學)
10. 簡卉雯 (2018)「談話の構造から見た日本語學習者の補助動詞「～てしまう」の使用—日本語母語話者と比較—」,28.『日本第二言語習得學會第 18 回年次大會』,28. (於日本・學習院大學)
11. 簡卉雯 (2017)「日本語學習者による補助動詞「てしまう」の習得」『第 3 回アジア圈學習者コーパス國際シンポジウム』,31-34. (於日本・神戶大學)
12. 簡卉雯 (2015)「母語の違いから見た「ている」のパーフェクト用法の習得」『言語と教育研究—応用への道を探る ワークショップ—』 (於日本・東北大學)

13. 簡卉雯 (2015) 「日本語学習者によるテイルの「効力持続」用法の習得」
『2015(平成27)年度日本語教育学会研究集会第4回北海道地区予稿集』,16-21. (於日本・北海道教育大学函館校)
14. 簡卉雯 (2013) 「日本語学習者の発話における「ている」のパーフェクト用法の使用特徴」『2013(平成25)年度日本語教育学会研究集会第8回東北地区予稿集』,15-20. (於日本・東北大学)
15. 簡卉雯 (2013) 「第2言語としての「ている」のパーフェクト用法の習得—ロジスティック回帰分析を用いて—」『2013(平成25)年度日本語教育学会秋季大会発表予稿集』,260-265.(於日本・関西外国語大学)
16. 簡卉雯 (2013) 「パーフェクト用法の「ている」の使用における母語の影響について—中国語・韓国語・英語母語話者を対象に—」『2012(平成24)年度日本語教育学会研究集会第10回関西地区予稿集』,13-16. (於日本・甲南大学)
17. 簡卉雯 (2012) 「日本語学習者のパーフェクト用法の習得—シタとシテイルを中心に—」『2012年日本語教育国際研究大会予稿集』,第2分冊,278.(於日本・名古屋大学)
18. 簡卉雯 (2011) 「文法テストによる日本語アスペクト形式「ている」の習得」『The 2nd Symposium on Contrastive Linguistics』 (於日本・麗澤大学)
19. 簡卉雯 (2011) 「中国語母語話者による日本語アスペクト形式「ている」の習得—「結果の状態」用法を中心に—」『2011世界日本語教育大会』 (於中国・天津外国語大学)
20. 簡卉雯 (2010) 「縦断的な作文データに基づく「結果の状態」用法の「ている」の習得研究—位置変化動詞と状態変化動詞から—」『第21回第二言語習得研究会全国大会予稿集』,38-43. (於日本・麗澤大学)
21. 簡卉雯 (2009) 「中間言語の変異性—「結果の状態」用法の「ている」の習得過程に関する縦断研究—」『2009年度日本語教育学会秋季大会発表予稿集』,105-110. (於日本・九州大学)
22. 簡卉雯・中村涉 (2009) 「テイルの「結果の状態」用法の習得—中国語母語話者を対象に—」『社会言語科学会第24回大会発表論文集』,66-69. (於日本・京都大学)
23. 簡卉雯・中村涉 (2008) 「日本語学習者の作文における「動詞+テイル」構文の意味タイプと使用頻度：コレスポネンス分析による解析」『社会言語科学会第22回大会発表論文集』,32-35. (於日本・愛知大学)
24. 簡卉雯・中村涉 (2007) 「中国語母語話者によるアスペクト形式「テイル」の習得過程：ロジスティック回帰分析を用いて」『言語科学会第9回年次国際大会予稿集』,35-38. (於日本・宮城学院女子大学)

研究計畫

年度	計畫名稱	補助單位	計畫職稱
112	國科會專題研究計畫:從語詞搭配的觀點看日語學習者機能語的習得(計畫編號: MOST 112-2410-H-019-007-)	國科會	主持人
112	大專校院教學實踐研究計畫:任務型語言教學法結合協同學習提昇學生日語口說能力(計畫編號: PGE1121438)	教育部	主持人
111	國科會專題研究計畫:日語學習者搭配詞「名詞+動詞」的習得(計畫編號: MOST 111-2410-H-019-010-)	國科會	主持人
111	大專校院教學實踐研究計畫:學習歷程檔案結合合作學習,提升學生日語寫作與應用能力(計畫編號: PGE1110467)	教育部	主持人
111	大學社會責任(USR)實踐計畫「子計畫8:永續海洋國際連結」	教育部	主持人
111	大學社會責任(USR)實踐計畫「三漁興旺-國際藍色經濟示範區」	教育部	協同主持人
110	大專校院教學實踐研究計畫:提昇學生跨文化日語溝通能力:任務導向教學法結合跨國遠距同步課程(計畫編號: PGE1101341)	教育部	主持人
110	大學社會責任(USR)實踐計畫「子計畫8:永續海洋國際連結」	教育部	主持人
110	大學社會責任(USR)實踐計畫「三漁興旺-國際藍色經濟示範區」	教育部	協同主持人
109	科技部專題研究計畫:海外教室環境日語學習者的習得分析:從不同語言習得環境角度(計畫編號: 109-2410-H-019 -021 -)	科技部	主持人
109	大專校院教學實踐研究計畫:日語聽說點線面:運用合作學習提昇日語聽力及口語表達流暢度(計畫編號: PGE1090855)	教育部	主持人
109	大學社會責任(USR)實踐計畫「子計畫5:生態優羸:生態教室與聚落整合發展計畫」	教育部	共同主持人
109	大學社會責任(USR)實踐計畫「三漁興旺-國際藍色經濟示範區」	教育部	協同主持人

108	科技部專題研究計畫:日語學習者「口說」與「書寫」能力間的中間語言變異性分析(計畫編號:108-2410-H-019-004-)	科技部	主持人
108	大專校院教學實踐研究計畫:創造日語學習新需求,提昇學習成效(計畫編號:PGE1080380)	教育部	主持人
106	多國語文與文化連結創新課程發展計畫:台日文化饗宴-多元文化融入日語學習課程計劃(計畫編號:MOE-106-2-4-022)	教育部	主持人
104	高級中學學生預修大學第二外語課程專班計畫	教育部	主持人
101	日本語學習者によるパーフェクトの「テイル」の習得における母語の影響—日本語學習者のコーパスと日本語母語話者のコーパスの比較から	日本住友財團	主持人

其他教學研究相關

教學相關獎勵		
110 學年度	海洋大學	校級教學優良教師
110 學年度	海洋大學 共同教育中心	院級教學優良教師
104 學年度	慈濟大學	校級教學優良教師
學術研究相關獎勵		
110,111,112 學年度	海洋大學	延攬特殊優秀人才獎勵
109 學年度	海洋大學	研究進步獎
109, 110 學年度	海洋大學	學術研究獎勵
108 ~ 112 年度	海洋大學	獲教育部補助『大專校院教學實踐研究計畫』績優獎勵獎
獎學金		
93 年	教育部	教育部 93 年公費留學 (學門:語言學, 研究領域:日本語言學)